



猫だって誇りを持って暮らしたい

飼い主のいない猫に関する苦情が多くなっています。その中で、捕獲して欲しいという要望をいただきますが、市では、動物愛護の観点から、駆除を目的とした猫の引き取りをすることはできません。
また、みだりな殺傷や遺棄をすることは、法律で禁じられています。
飼い主のいない猫を減らすこと、また、人と猫が地域でうまく共生していくためには、地域のみなさまの理解、協力が必要です。

問(市) 生活安全課 生活安全係

地域の飼い主のいない猫による問題は、猫を愛護するか否かではなく、「地域の環境問題」として考えていくことが大切です。

【飼い主の方へ】責任を持って正しく飼いましょう

飼い猫が、家の中と外を自由に行き来できるようにしていませんか？
感染症や病気にかかる機会が増えるほか、交通事故で命を落とす可能性もあります。また、不妊・去勢手術をしていない猫を外に出すことで、外猫との間に子猫を増やすことにもつながります。なるべく家の中で飼うようにしましょう。

- 🐾 名札をつけましょう
- 🐾 妊娠を望まない場合は不妊・去勢手術をしましょう
- 🐾 愛情を持って終生飼育をしましょう

外の世界は危険がいっぱい！



【みなさんへ】地域のルールやマナーを守りましょう

飼い主のいない猫へのエサやりは、近隣住民とのトラブルが発生しないよう、自分の敷地内や地域の理解を得た決まった場所で、決まった時間にあげましょう。

- 🐾 ご近所の理解を得ましょう
- 🐾 エサの食べ残しはすぐに片付けましょう
- 🐾 エサ場周辺の掃除をしましょう

エサやりを禁止すると…

- ・飢えた猫がゴミをあさる
- ・エサをめぐる猫同士のけんかによる騒音など

地域環境が悪化するかもしれません。



飼い主のいない猫の不妊・去勢手術に要する費用の一部を助成します

- ▶対象者 地域猫活動を行う団体などの代表者
- ▶条件
 - ・飼い猫は対象外
 - ・活動への理解を得るため、地域住民への活動内容の周知が必要です
- ▶助成額
 - ・不妊手術(メス) 10,000円/匹
 - ・去勢手術(オス) 5,000円/匹



◀詳しくはホームページをご覧ください。



地域猫活動とは

『地域猫活動』とは、地域住民の理解のもと、住民とボランティアが飼い主のいない猫の不妊去勢手術やルールに基づいた餌やり、トイレの管理などを行う活動です。



団地再生プロジェクト in 三木 高齢者福祉施設 交流拠点を整備

施設の内容・画像はイメージです。今後変更になる場合があります。



計画の一環で市が整備する交流拠点施設のイメージ

交流拠点施設は、戸建住宅団地の再生に関わる住民や市内外の人々が交流でき



▲社会福祉法人すみれ福祉会が整備中の高齢者福祉施設のイメージ

団地再生プロジェクトの一環として、市が青山7丁目の1.5畝の土地に高齢者福祉施設と本計画の推進拠点となる交流拠点施設を整備します。
高齢者福祉施設は、市が公募し、選定した社会福祉法人すみれ福祉会が特別養護老人ホームや短期入所生活介護(ショートステイ)、デイサービスセンターを建設し、令和7年春に開業を予定しています。



▲交流拠点にはコワーキングスペースや市内外の起業家が出店に向けて試験的に構えるチャレンジショップの常設も予定です。

遊べるプレイパーク、行政の出張窓口などを備えた施設を整備し、令和7年度内の供用開始をめざしています。



▲交流拠点施設には行政の出張窓口(サービスステーション)も設ける予定です。

住民主体の団体が地域の橋渡し役に

住民主体団体の代表者に聞きました

団地再生プロジェクトの推進にむけて、総合相談窓口と地域のつながり作りのために、今後、中核となる交流拠点施設が整備される予定です。総合相談窓口と地域のつながり作りは地域住民を主な構成員とした「一社」みらまち緑が丘青山推進機構が窓口の橋渡し役を担えればと考えています。

状況があります。総合相談窓口では、この地域に関係する方々との対話をおして、住まいなどの生活上の困りごとに寄り添い、必要に応じて住まいの提案を行う予定です。

産・官・学・民が連携し住民の住みよさを守る

地域のつながり作りでは、若者が住みたいと思うような、子どもの教育に関すること、高齢世代の健康寿命延伸に関することなど、理想をあげれば限りがありませんが、地域の方々が安心して住まうことのできる環境を住民・企業・学校・行政で連携して維持していくことが重要だと考えます。



みらまち緑が丘青山推進機構 理事長 前川厚行さん